



長門市しごとセンター

保護者と行く長門企業見学

NPO法人つなぐでは、「長門で働く」面白さを伝え、若者が進路を考えるときに、前向きに長門を選択肢に入れてほしいと願い、活動をしています。

高校生が進路についてまず一番に相談する「保護者」に企業の見学に行ってもらおうと考えました。

訪問先は、次のとおりです。

- ① ヤマネ鉄工建設：建築鉄骨溶接の性能において最高位のSグレードを持つ工場を見学。
- ② シンラテック：長門に自生する未利用広葉樹シノキのブランド化に向けた挑戦を紹介。
- ③ 楊貴妃浪漫の宿 玉仙閣：長門湯本温泉まち株式会社代表でもある伊藤氏のお話。
- ④ ながと物産合同会社：道の駅センザキッチン運営をはじめとする、地域商社の内側を紹介。

1社1時間ほどだったのですが、実際に働く現場を見ながら話を聞くことで内容の濃い時間となりました。

参加者からは、「知らなかった会社があり、とても良かった」「長門市でも地域を元気にしようという企業さんが多く、今後自分の子どもたちが大きくなったときにつきたい職業がひとつでも多くあると嬉し

いと思います」などの感想をいただきました。

ご協力、ご参加いただいたみなさま、本当にありがとうございました。



▲家族連れの人を含む、幼稚園から60代までの14人が参加しました

【参加企業募集】合同企業ガイダンス in 長門

6月3日（金）に開催する合同企業ガイダンス in 長門の参加企業を募集しています。

■期限 5月9日（月）10時まで

詳細・申込についてはNPO法人つなぐのホームページまたはQRコードよりご確認ください。



道の駅センザキッチン

接客・おもてなし講習会開催

道の駅センザキッチンのスタッフ全員を対象に、接客・おもてなし講習会を開催しました。講師に日本航空の現役CA（キャビンアテンダント）をお招きし、挨拶や身なり、立ち居振る舞いについて講習をしていただきました。前日には、センザキッチンの現状を見ていただき、課題や改善点もご指摘いただきました。

さすがに現役CAだけあって、凛とした立ち姿は、講習が始まる前から見とれてしまうほどです。

これから大型連休などで、沢山のお客様をお迎えすることになると思いますが、今回の講習を活かして、お客様に満足していただける接客やおもてなしができるよう、スタッフ一同決意を新たにしました。



道の駅センザキッチン ☎ 27-0300



生涯「健幸」で元気に暮らせるまちを目指して

～プラス1000歩で

楽しく健幸づくり～

高血圧症、糖尿病などの生活習慣病の予防には、1日8000歩、20分程度の早歩きが勧められています。平成30年に市民対象に実施したアンケートの結果、一日平均歩数が5000歩未満の方が57.6%と歩数が少ない状況です。新型コロナウイルス感染症により外出を控え、自宅で過ごす時間が多くなると、より運動不足や体力低下が懸念されます。

心身の健康を保つためには、意識的に身体を動かすことや適度な運動が必要です。今より10分多く歩くと約1000歩（距離にして600～700m程度）歩数が増加します。ちょっとした移動でも歩くことを心がけ、いつもの生活にプラス1000歩の歩数増加を目指しましょう。

市では、やまぐち健幸アプリの登録を推進しています。健康づくりのために取り入れてみてください。登録方法については長門市健幸ガイドをご覧ください。

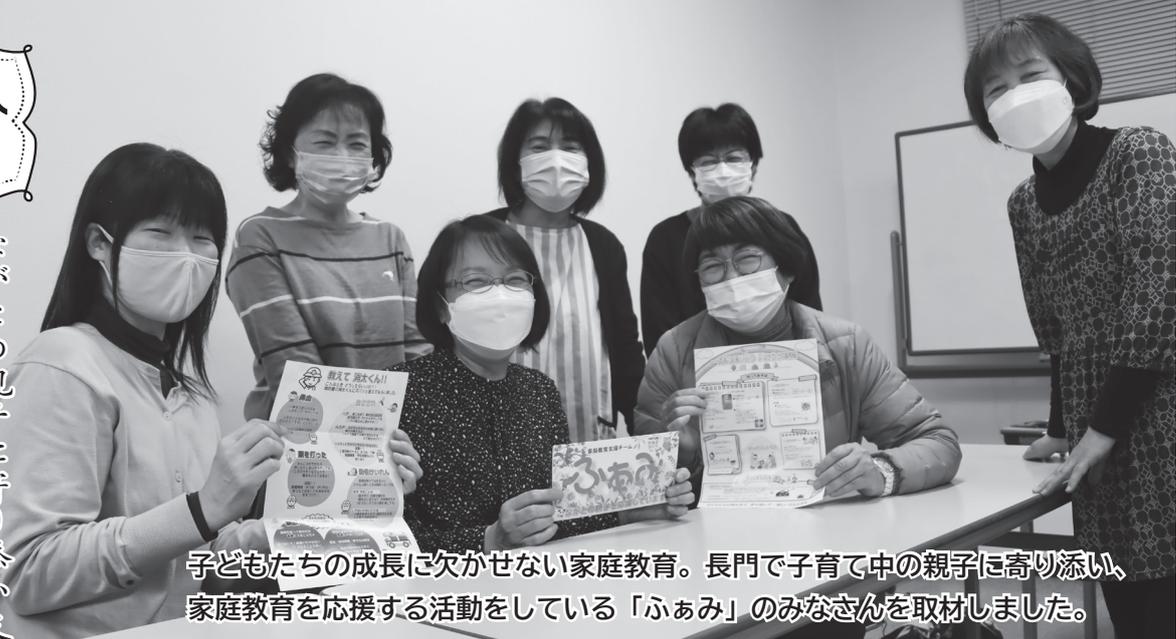
やまぐち健幸アプリ



歩いて・記録して・参加して、「健幸ポイント」が貯められます。ウォーキングや健診の受診などを記録してポイントがためられるスマートフォン用アプリです。

長門市保健センター ☎ 23-1133

ながとの親子に寄り添い支援する
長門市家庭教育支援チーム
ふあみのみなさん



子どもたちの成長に欠かせない家庭教育。長門で子育て中の親子に寄り添い、家庭教育を応援する活動をしている「ふあみ」のみなさん取材しました。

▲「自分たちも楽しみながら活動を行っている」と笑顔を見せてくれた



▲子育てに関する情報を紹介



▲交流会では進行役を担う



▲9人のメンバーで活動中

▼チームを立ち上げたきっかけは？

私たち「ふあみ」は家庭教育アドバイザー養成講座を受講したメンバーで立ち上げました。講座で学んだことを活かして、「長門で子育て中の親子を応援したい」「各学校の家庭教育学級を支援したい」と思い、平成26年にチームを結成し活動を続けています。

▼どんな活動をしていますか？

お子さんが小学校に入学する際の就学時検診時に保護者同士の交流会を開催したり、生活習慣についてのワークショップを行ったり、また、情報誌の発行やケータイ安心安全学習会を開催するなどして、相談しやすい環境づくりや情報発信を行っています。

▼活動の中で印象に残っていること、感じたことをお聞かせください

交流会では、緊張していたみなさんが話してい

くうちに笑顔になっていくようすが印象的です。保護者同士が顔を合わせて交流することで、入学からの不安や心配ごとに先輩からその学校ならではのアドバイスがあり、ほっとしている姿をみて「開催してよかった」と感じました。

また、学校内子育てひろばで、中高生と乳幼児親子の交流をサポートしたときには、乳幼児とふれあう生徒の皆さんが大変ほほえましかったです。保護者の皆さんも、普段はできない交流がうれしかったようで、ゆったりした時間を過ごしていました。

▼今後の活動は？

家庭教育を取り巻く環境はどんどん変化していますが、私たちも学び、そして楽しみながら活動を続けたいと思っています。子育ては辛いことばかりじゃなくて楽しいこともあるんだ・相談できる場所があるんだということを伝えて、長門で子育てする親子に寄り添っていきたいです。

長門市市民憲章
①青い海 みどりの大地
いかしあう、美しいまちをつくります

長門市広報 知っちょこ

No. 263 2022年(令和4年)5月号
発行 長門市役所
〒759-4192 山口県長門市東深川1339-2
TEL 0837-22-2111(代)
編集 企画総務部企画政策課シティセールス推進班
TEL 0837-23-1117 FAX 0837-22-5358

長門で暮らし始めてから今年で3年目。野球観戦とドライブしか趣味のなかった私ですが、新たな趣味としてキャンプに興味を持ちました。動画やネットでリサーチしながら道具を揃える一方、部屋を占領する綺麗な新品の道具たち：▼完全なる道具コレクターと化していました。先日千畳敷のキャンプ場についてにキャンパーとしての第一歩を歩み始めました。テントを立て、満月の下、焚き火の炎を目と耳で楽しみながら、たわいもない話を仲間と語り合う。普段の生活では味わうことのできない、時がゆつたりと流れていく感覚に心も体もリフレッシュできた、一泊二日春のキャンプデビューでした。

編集後記

